題目（英文で論文を書く場合は不要）**（**MS明朝,16.5pt）

Title in English(Times New Roman, 17pt)

著者名（英文で論文を書く場合は不要）**（**MS明朝,14pt, 非ボールド）

Author’s name[[1]](#footnote-1)\*(Times New Roman, 14.5pt, 非ボールド)

Abstract (Times New Roman, 12pt, 非ボールド)

Write an abstract in English, which will be required for recording to Mathematical Reviews. There is no need to use kanji for technical terms or proper nouns. (Times New Roman, 11pt)

§1. はじめに**（**MS明朝,11.5pt, 非ボールド：英文はTimes New Roman, 12pt）

（空白行）

ここから本文を始める。（MS明朝, 11.5pt：英文はTimes New Roman, 12pt）

§2. Wordの書式

言語は、英語、 日本語または中国語を用い、フォントは、Times New Roman, MS明朝、中国語の場合は、DFKai-SB（楷書）を用いる。書式[[2]](#footnote-2)は以下の通りです。

（MS明朝,11.5pt）

Use English, Japanese, or Chinese as the language, and Times New Roman, MS Mincho, or DFKai-SB (block style) as the font, respectively. The formatting is as follows:

(Times New Roman, 12pt）

字数：40字×40行

本文は両端揃え

余白：上35mm, 左右下30mm

日本語題名 16.5pt（MS明朝, センタリング, 非ボールド）

Title in English 17pt（Times New Roman, センタリング, 非ボールド）

著者名(和文) 14pt（MS明朝,センタリング, 非ボールド）

Author’s Name 14.5pt（Times New Roman, センタリング, 非ボールド）

節見出し(和文) 11.5pt　§1. （MS明朝、センタリング, 非ボールド）

Section headings 12pt　§1. （Times New Roman、センタリング, 非ボールド）

本文(日文) 11.5pt（MS明朝）

本文(英文) 12pt（Times New Roman）

脚注(日文) 9pt (MS明朝）

脚注(英文のみ) 9.5pt (Times New Roman）

ヘッダー：（Times New Roman, 11pt）

◎１ページ目：左上

*RIMS Kôkyûroku Bessatsu*

**B9x** (2021), nn-mm

(nn:開始ページ数)

(mm:最終ページ数)

 ◎偶数ページ

左：ページ番号 11pt (Times New Roman）

中央：英文著者名 11pt (Times New Roman）

 ◎奇数ページ

右：ページ番号 11pt (Times New Roman）

中央：英文題名 11pt (Times New Roman）

　▲1行でうまく書けないときは、ヘッダに2行用い、１行目にページ番号、２行目に英文著者名(偶数ページ)あるいは英文題名(奇数ページ)を書く。

参考文献**（**MS明朝,11.5pt, 非ボールド, センタリング）

(空白行)

[1] 関孝和、『角法并演段図』、東北大学デジタルコレクション, 平山文庫MA/387

[2] 日本学士院編(藤原松三郎著)、『明治前日本数学史』第三巻、岩波書店、2008

(MS明朝, 10.5pt)

1. \* 所属

 email: \*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\* [↑](#footnote-ref-1)
2. 数理研は、LaTeX(ラテフ)のスタイルファイルで書式を指定していますので、Wordのフォントの大きさはLaTeXで組版した場合と同じ大きさにしています。 [↑](#footnote-ref-2)